

Q 一ノに避難した地域の住民はおりませんでした。今後はマリーノ、浪川荘、サンクチュアリは、津波時の避難施設であるということを十分に周知を行つていただきたいがどうか。

A 総務部長 御指摘は、ごもっともだと受けとめております。今後については、誘導看板の設置等、十分な周知を図つていきたいと考えます。

Q 蓬沼地区への避難タワーの建設について、市長はどのような考えがあるのか。私の個人的な提案としては、蓬沼出張所の場所に、道の駅と一体となるシンボルタワーとしての避難タワーの建設をと思うがどうか。

A 市長 あそこを目指して逃げようというシンボル的なもの、これはふだんから安心感を持つていたくという面と、現実にそこを目指していくんだという、いざというときの心理的な支えにもなると思いますから、私としては大賛成です。



高橋 忠 議員

**Q** 真行寺、鳩戸、野掘  
麻生新田地区の史跡、  
とくに真行寺廢寺跡は7世紀末から8世紀初頭、奈良時代初期の創建で鳩戸東遺跡についても同年代ごろの建物跡、郡衙跡として県内でも一級の史跡といわれている。史跡化に向け市として今後どのように取り組むのか。

**A 教育長** 県教育長、文化財課課長が現地視察に訪れた際、県や国の指定が実現するとよいですね、将来は当時の模造建築物を建てるなど、資料館や観光にも利用できますねと、そのような発言があつたと記憶しています。





真行寺廃寺跡

**Q** 県関係者の現地視察に、保存活動に尽力されている地元関係者に事前に連絡がなかつたのはなぜか。  
**A** 副市長 塚田義典 様  
教育委員会と文化庁の間で、国指定に向けた調整を図ることで協議しているとのことだが、国指定に向けた検討委員会を立ち上げたか。  
**A** 教育長 検討委員会はまだ立ち上がりつていません。いま、県文化財課では今後の方針と予定について、県、山武市、地元とを交えて協議と説明をしなければならないと考えているようです。  
**Q** 市の文化財審議委員会では、史跡化にむけた議論、検討がされていましたか。  
**A** 教育長 ハードルは非常に高いが、歴史ある史跡であることは間違いないありません。県、国の指定をめぐらすことが望ましいと一

**A** 真行寺廃寺跡、鳴戸市として今後どのように取り組んでいくのか。り組んでいくのか。

**A** 教育長 真行寺廃寺跡は、来年度県指定の候補として、県の審議会に出す予定です。早ければ来年度の後半に審議委員の視察の可能性があります。嶋戸東遺跡は、真行寺廃寺跡の指定を成就した後に進めていきたいと考えています。

**Q** 県内では大変まれで極めて重要なといわれる遺跡であり、市民の関心を高める施策が必要と思うが考えはあるか。

**A** 教育長 市民に史跡の存在と重要性を認識していただく手段として、平成24年度に歴史民俗資料館で企画展と講演会を予定し、教育委員会として市内の子どもたちに郷土の文化財の存在と重要性を社会科の授業などで紹介していくかと思います。

**Q** 将来の史跡化の未来像を描き、市の事業として進めるべきだと思いますが、教育長の考えは。

**A 教育長** 市教育委員会の力だけでは無理なので、熱い思いをもつた地元関係者と連携を密にし、協力して進めていきたいと思います。

**Q 平成24年度予算について**

**A 市長** 「誰もがしあわせを実感できる独立都市さんむ」を目指し、新しい時代の地域社会の創造という振興、復興を整合性をとりながら平成24年度を進めたいと思います。

**Q 独立都市さんむを目指すためには、市民、地域住民が独立できる環境を行政として構築すべきと思うがどうか。**

**A 市長** 地方も大きな課題を抱えた難しい時代。行政としては現実をしっかりと自覚し、有言実行し、新しい地域社会を創造していきたいと思います。

**Q 山武市は農村型の未來像を考えているとの**